

「アクセントカラー」を 効果的に取り入れたオフィスづくり

色にはそれぞれ心理的な効果があり、働く人の気分や集中力、コミュニケーションにも影響を与えることが知られています。
今回は「アクセントカラー」をテーマに3つの事例をご紹介します。
単調になりがちなオフィスに戦略的に色を取り入れ、
より快適で創造的な環境をつくりましょう！



01

緑をアクセントにした リフレッシュスペース

木目調の明るい空間に、椅子の張地や植栽で「緑」をアクセントカラーとして取り入れたリフレッシュスペース。

緑は「安心感」や「リラックス効果」をもたらす色であり、自然とのつながりを感じさせるナチュラルな印象を演出できます。休憩や雑談の場に緑を使うことで、心身のリフレッシュを促し、ストレス軽減にもつながります。



02

青を使った スタイリッシュな食堂

折り上げ天井部分に「青」の塗装を施した食堂スペース。
青は「冷静」「知的」「洗練」といったイメージを持ち、落ち着いた雰囲気の中で食事や会話を楽しむことができます。

また、青は視覚的に奥まって見える「収縮色」であり、天井などの高い位置に使うことで空間全体が広く感じられる効果があります。





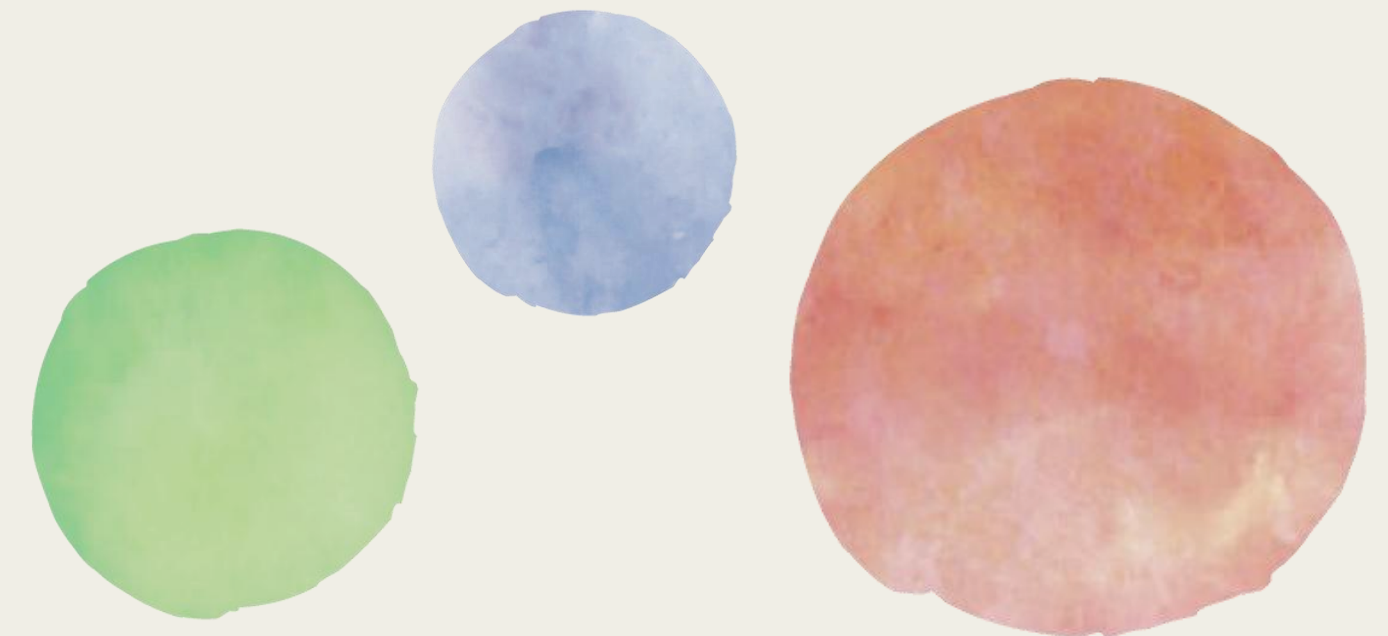
03

スペースによって 色分けされたオフィス

事務所のチェアには「赤」の張地を採用。赤は「活力」や「情熱」を象徴する色で、ワーカーのアクティブな気持ちを引き出します。

一方、会議室にはそれぞれ「青」と「緑」をテーマカラーとして設定。青の会議室は論理的な思考や冷静な議論を促し、緑の会議室はリラックスした雰囲気です。柔軟なアイデアを生み出す場に。

色が変わると、そこにいる人の気持ちや過ごし方も自然と変わります。



色の力で、オフィスにもっと心地よさを

アクセントカラーは、空間に個性を与えるだけでなく、働く人の気持ちや行動にもポジティブな影響をもたらします。

リラックスしたい場所には緑、集中したい場には青など、色の持つ心理効果を活かすことでオフィスの機能性と快適性を高めることが期待できます。

また、企業のコーポレートカラーをアクセントとして取り入れることでブランドイメージの浸透や統一感のある空間づくりも可能です。



色の力を味方につけて、働く人が心地よく過ごせるオフィスづくりをはじめてみませんか？